

資料4-①. 栄町通復興まちづくり構想（ビル再建に向けた面的な計画その1）

位置図	計画の概要
	<p>○計画場所…神戸市中央区栄町通（1丁目～6丁目）</p> <p>○計画主体…みなと元町タウン協議会 栄町通周辺まちづくり懇談会（協議会の専門部会）</p> <p>○計画内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標…～「クラシカル・モダン」なまちづくり～ ・方針…①港神戸の伝統的ウォール街の活性化 ②交通利便性と都心オフィス・アメニティの向上 ③ゆとりと風格あるシンボルロードづくり ④企業間親睦ネットワークづくり

●安全でゆとりと風格ある栄町シンボルロードづくり

神戸で最初に無電柱化され、開港トウカエテの街路樹が緑のトンネルをつくる栄町通。安全でゆとりある歩行者空間をうみだし、近代洋風建築物を生かした風格あるシンボルロードづくりをめざします。

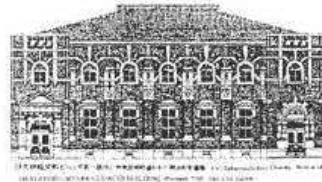
●栄町通のシンボルロード復興イメージ



●ミナト神戸の伝統的ウォール街の活性化

栄町通周辺地区は、銀行・証券・生保や担保などの金融サービス業（数社）や神戸支社級の企業が集積した123年の歴史をもつ伝統的オフィス街です。震災復興により活力にぎわい・安らぎのある神戸都心の新しい複合ビジネス文化ゾーンとして活性化します。

●ミナト神戸ウォール街の心象風景要素



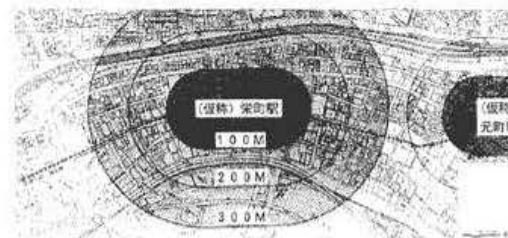
●企業間親睦ネットワーク

この度の震災は、自頃からのまちのコミュニティとネットワークの大切さを教えています。懇談会の設立によって企業間の親睦・交流を積極的にはかかっていきます。

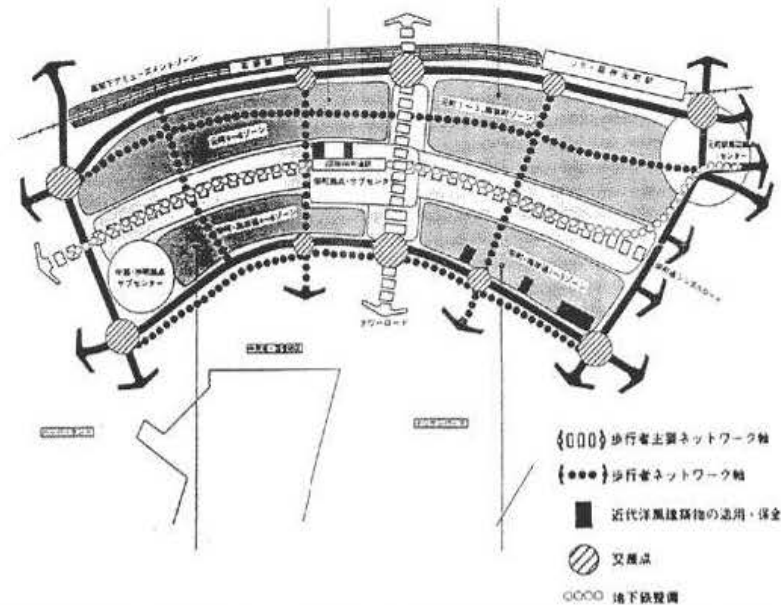
●交通の利便性と都心オフィス・アメニティ向上

かつて市電が走行していた栄町通に、今は観光ループバスがよみがえりました。復興まちづくり事業のひとつとして、地下鉄海岸線（平成10年度目標）が整備され、交通の利便性と立地条件の向上をはかります。元町商店街、南京町をもち、山と海に市内で最も近い都心オフィス環境を生かし魅力を高めます。

●地下鉄海岸線整備とまちの立地条件の向上



●タウンオアシス構想（骨格提案）



位置図	計画の概要
	<p>○計画場所…神戸市中央区北町通地8町(旧居留地) ○計画主体…旧居留地連絡協議会 復興委員会</p> <p>○計画内容 ・目標…賑わいと風格ある中核業務地～ ・方針…①安全で高規格な都心づくり ②歩きたくなるまちづくり ③風格ある街並みづくり ④旧居留地に相応しい建設活動の促進</p>

(3) 近代建築物を活かし、風格ある街並みを形づくる

- ①近代建築物の保全・活用
- ②風格あるまちなみをもりたてる建物づくり
- ③まちなみを阻害する要素への対策
- ④空地・屋外駐車場の修景
- ⑤まちの美化
- ⑥夜間景観の演出

広告物ガイドライン

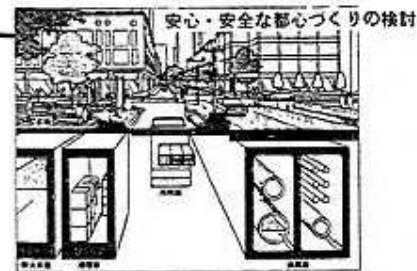
共通事項	・自己財のもの以外は設置しない。 ・広告物の設置数および表示面積は、極力、最小限とするよう努める。 ・地色は建築物に合わせる。 ・点滅するものや動く広告物、あるいは特設のものへの設置は避ける。
屋上広告物	・屋上広告物は設置しない。
壁面広告物・広告物	・建築物の趣意からはみ出して掲出しない。
突出広告物	・突出したものは設置しない。
地上広告物	・地上広告物の高さは、必要最小限とする。
その他	・駐車場導入看板は、別に定める規格のもの以外は掲出しない。 ・既設のものについても、この基準を遵守するよう努める。

(4) 旧居留地にふさわしい建設活動を促進する

- ①建物の用途/神戸の中核業務地としての地位を保持し、魅力づける
- ②建物の規模/居留地時代の敷地割りに基づくボリューム感をまもる
- ③建物の形態/囲まれ型まちなみをまもり、道路ごとに統一された中層階のスカイラインを形づくる
- ④建物の材質・意匠/風格あるまちなみをもりたてる
- ⑤広場等/解放型広場の設置場所を限定し、街区に内包される広場空間を形づくる
- ⑥駐車場/歩行者空間の動線と修景を阻害しない

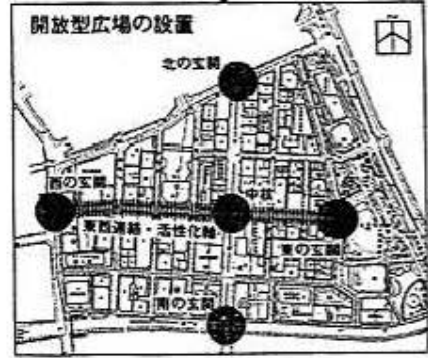
(1) 安全で高規格な都心づくりに取り組む

- ①周辺地区との連絡の円滑化
- ②文化施設の誘致・拡充
- ③地域冷暖房や共同溝、未来に向けた通信システム等の導入
- ④建物の耐震性向上と、避難場所の確保、食料・水・医薬品等の備蓄
- ⑤バリアフリーの建物づくり



(2) 交通流を整序し、歩きたくなるまちづくりを目指す

- ①通過交通の排除
- ②駐車対策
- ③歩行者優先道路の魅力化と、にぎわいの演出
- ④案内サインの充実



資料4-③. 三宮センター街1丁目復興計画（ビル再建に向けた面的な計画その3）

